

対象校No. 1002
注4

学校コード F133310109625
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

注2
倉敷芸術科学大学 芸術学部 芸術学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人加計学園
令和6年5月1日現在

作成担当者	
担当部局(課)名	庶務部庶務課
職名・氏名	カチョウホサ オオハシ ナオコ 課長補佐・大橋 尚子
電話番号	086-440-1111
(夜間)	086-440-1111
e-mail	kikaku_hyouka@kusa.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
- 設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
- 表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
- 例)
- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
 - 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
 - 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
 - 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
 - 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
 - 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
 - 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
 - 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
- なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。
- https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

目次

芸術学部

＜芸術学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	38

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人加計学園

(2) 大 学 名

倉敷芸術科学大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒712－8505
岡山県倉敷市連島町西之浦2640番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(カケ コウタロウ) 加 計 晃太郎 (平成13年1月)		
学 長	(ヤナギサワ ヤスノブ) 柳 澤 康 信 (令和3年4月)		
学 部 長	(タマル ミノル) 田 丸 稔 (令和5年4月)		
学 科 長	(イガラシ ヒデユキ) 五十嵐 英之 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5)－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
芸術学部 芸術学科 学士（芸術）	美術関係	4 年	150 人	2年次 0 人 3年次 2 人 4年次 0 人	604 人	－	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

(5)－② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	150人 150 (ー) [ー]	－	1.30倍	－		
志願者数	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	345 (ー) [146]					－ (ー) [ー]
受験者数	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	329 (ー) [135]					－ (ー) [ー]
合格者数	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	293 (ー) [105]					－ (ー) [ー]
B 入学者数	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	195 (ー) [87]					－ (ー) [ー]
入学定員超過率 B／A	－		－		－		－		－		1.30					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
- ・ 「(5)－② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	195 [87] (0)	－ [ー] (ー)	
2 年次			－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
3 年次					－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
4 年次									－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
計			－ [ー] (ー)						－ [ー] (ー)		－ [ー] (ー)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	人	人	令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	195 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。〈在学者数から退学者数を減らす必要はありません。〉
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留學生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\quad - \quad} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{195} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<芸術学部 芸術学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 授	講 師	助 教	助 手	
B a s i c P r o g r a m	C o r e 科 目	A&S Core 1	1通	2		1	1				
		A&S Core 2	1通	2		1	1				
		A&S Core 3	1通	2							4
		A&S Core 4	1通	2							4
		A&S Core 5	1通	1							1
		A&S Core 6	1通	1							1
		A&S Core 7	1通	1				1			1
		A&S Core 8	1通	1				1			1
		A&S Core 9	1通	1							2
		A&S Core 10	1通	1							2
		A&S Core 11	1通	1							3
		A&S Core 12	1通	1							2
		小計(12科目)	－	16	0	0	2	2	2		21
	S t a n d a r d 科 目	目 群 リ テ ラ シー 科	情報リテラシー	1前	2						3
			プログラミング	1前		2					1
			メディアリテラシー	1後		2					1
			データリテラシー	1後		2					1
		思 考 科 目 群	文化と言語表現	1前		2					1
			社会と言語表現	1後		2					1
			芸術的思考	1後		2	1				
			科学的思考	1前		2					2
		科 目 群 キ ャ リ ア デ ザ イ ン	キャリアデザインⅠ	1前・後	2						3
			キャリアデザインⅡ	2前		2					1
			リーダーシップ実践	1後		2					1
			マナーマイスター	1前		2					1
			地域デザイン	1後		2					1
		異 文 化 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 科 目 群	英語コミュニケーションⅠ	1前		2					1
			英語コミュニケーションⅡ	1後		2					1
			中国語コミュニケーションⅠ	1前		2					1
			中国語コミュニケーションⅡ	1後		2					1
			韓国語コミュニケーションⅠ	1前		2					1
			韓国語コミュニケーションⅡ	1後		2					1
			日本語Ⅰ	1前	2						3
			日本語Ⅱ	1前	2						3
			日本語Ⅲ	1後	2						3
			日本語Ⅳ	1後	2						3
		資 格 関 連 科 目 群	日本国憲法	1前		2					1
			保健体育概論	1後		2					1
			保健体育実技Ⅰ	1前		1					1
			保健体育実技Ⅱ	1後		1					1
		小計(27科目)	－	12	40	0	1				18
	F i e l d w o r k 科 目	A&S Fieldwork 1	1・2・3通		2		1				1
		A&S Fieldwork 2	1・2・3通		2						1
		A&S Fieldwork 3	1・2・3通		2						1
		A&S Fieldwork 4	1・2・3通		2						3
		A&S Fieldwork 5	1・2・3通		2						2
		A&S Fieldwork 6	1・2・3通		2						1
		認定フィールドワーク実践Ⅰ	1・2・3通		2						1
		認定フィールドワーク実践Ⅱ	1・2・3通		2						1
		認定フィールドワーク実践Ⅲ	1・2・3通		2						1
		小計(9科目)	－	0	18	0					7
A d v a n c e d P r o g r a m	P B L 科 目	A&S PBLⅠ	2・3通		2			1			1
		A&S PBLⅡ	2・3通		2			1			1
		プロジェクト演習Ⅰ	1前		2	8	5	3			
		プロジェクト演習Ⅱ	1後		2	8	5	3			
		プロジェクト演習Ⅲ	2前		2	8	5	3			
		プロジェクト演習Ⅳ	2後		2	8	5	3			
		総合プロジェクト実習Ⅰ	3前		2	8	5	3			
		総合プロジェクト実習Ⅱ	3後		2	8	5	3			
		小計(8科目)	－	0	16	0	8	5	3		1
	理 論 系 科 目	西洋美術史	1前		2			1			
		日本美術史	1後		2			1			
		東洋美術史	1後		2						1
		デザイン史	1前		2			1			
		日本近代美術史	1前		2	1					
		工芸史	1後		2	1	1				

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 授	講 師	助 教	助 手	
B a s i c P r o g r a m	C o r e 科 目	A&S Core 1	1通	2		5	2	1	1		1
		A&S Core 2	1通	2		3	3	1			2
		A&S Core 3	1通	2							5
		A&S Core 4	1通	2							5
		A&S Core 5	1通	1							3
		A&S Core 6	1通	1							1
		A&S Core 7	1通	1		1	1	1			2
		A&S Core 8	1通	1			1				2
		A&S Core 9	1通	1							3
		A&S Core 10	1通	1							3
		A&S Core 11	1通	1							4
		A&S Core 12	1通	1							3
		小計(12科目)	－	16	0	0	9	7	3	1	23
	S t a n d a r d 科 目	目 群 リ テ ラ シー 科	情報リテラシー	1前	2						3
			プログラミング	1前		2					1
			メディアリテラシー	1後		2					1
			データリテラシー	1後		2					1
		思 考 科 目 群	文化と言語表現	1前		2					1
			社会と言語表現	1後		2					1
			芸術的思考	1後		2	1				
			科学的思考	1前		2					2
		科 目 群 キ ャ リ ア デ ザ イ ン	キャリアデザインⅠ	1前・後	2						3
			キャリアデザインⅡ	2前		2					1
			リーダーシップ実践	1後		2					1
			マナーマイスター	1前		2					1
			地域デザイン	1後		2					1
		異 文 化 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 科 目 群	英語コミュニケーションⅠ	1前		2					3
			英語コミュニケーションⅡ	1後		2					3
			中国語コミュニケーションⅠ	1前		2					1
			中国語コミュニケーションⅡ	1後		2					1
			韓国語コミュニケーションⅠ	1前		2					1
			韓国語コミュニケーションⅡ	1後		2					1
			日本語Ⅰ	1前	2						3
			日本語Ⅱ	1前	2						3
			日本語Ⅲ	1後	2						3
			日本語Ⅳ	1後	2						3
		資 格 関 連 科 目 群	日本国憲法	1前		2					1
			保健体育概論	1後		2					1
			保健体育実技Ⅰ	1前		1					1
			保健体育実技Ⅱ	1後		1					1
		小計(27科目)	－	12	40	0	1				20
	F i e l d w o r k 科 目	A&S Fieldwork 1	1・2・3通		2						5
		A&S Fieldwork 2	1・2・3通		2						1
		A&S Fieldwork 3	1・2・3通		2						1
		A&S Fieldwork 4	1・2・3通		2						2
		A&S Fieldwork 5(未開講)	1・2・3通		2						3
		A&S Fieldwork 6	1・2・3通		2						1
		認定フィールドワーク実践Ⅰ	1・2・3通		2						1
		認定フィールドワーク実践Ⅱ	1・2・3通		2						1
		認定フィールドワーク実践Ⅲ	1・2・3通		2						1
		小計(9科目)	－	0	18	0					10
A d v a n c e d P r o g r a m	P B L 科 目	A&S PBLⅠ	2・3通		2				1		1
		A&S PBLⅡ	2・3通		2				1		1
		プロジェクト演習Ⅰ	1前		2		8	7	3	1	
		プロジェクト演習Ⅱ	1後		2		8	7	3	1	
		プロジェクト演習Ⅲ	2前		2		8	6	2		
		プロジェクト演習Ⅳ	2後		2		8	6	2		
		総合プロジェクト実習Ⅰ	3前		2		8	7	3	1	
		総合プロジェクト実習Ⅱ	3後		2		8	7	3	1	
		小計(8科目)	－	0	16	0	8	7	3	1	1
	理 論 系 科 目	西洋美術史	1前		2				1		
		日本美術史	1後		2				1		
		東洋美術史	1後		2						1
		デザイン史	1前		2			1			
		日本近代美術史	1前		2	1					
		工芸史	1後		2	1	1				

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
				必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
A d v a n c e d P r o g r a m	理論系科目	メディア文化史	1後		2				1				
		美学・芸術学概論	1前		2							1	
		動画論	1前		2		2						
		メディア・アート論	1後		2			1					
		構成論	1前		2							1	
		先端メディア論	1前		2		1						
		小計(12科目)	－	0	24	0	5	2	2			3	
	導入科目	アート系	絵画基礎Ⅰ	1前		2							1
			絵画基礎Ⅱ	1後		2		1					
			絵画基礎Ⅲ	2前		2		1					
			工芸基礎	1前		2		1	1				
			彫刻基礎	1後		2		1					
			造形基礎	1前		2							1
			メディアデザイン系	デザイン基礎Ⅰ	1前		2		1				
		デザイン基礎Ⅱ		1後		2		1					
		デザイン基礎Ⅲ		2後		2				1			
		イラスト基礎Ⅰ		1前		2			1				
		イラスト基礎Ⅱ		1後		2			1				
		動画基礎		1前		2		1					
		アニメーション基礎		1後		2		1					
		マンガ基礎		1前		2				1			
		先端メディア系	先端メディア基礎Ⅰ	1前		2				1			
			先端メディア基礎Ⅱ	1後		2							1
			先端メディア基礎Ⅲ	2前		2							1
			ゲーム基礎	1後		2			1				
			プログラミング基礎	1前		2		1					
			3DCG基礎Ⅰ	1前		2			1				
			3DCG基礎Ⅱ	1後		2			1				
			小計(21科目)	－	0	42	0	8	4	2			3
		拡張科目	コンピュータ演習	1前	2								1
			写真基礎	1前		2							1
			サウンドデザイン	1後		2							1
			モーショングラフィック	1後		2							1
			色彩学	1後		2							1
			知的財産権	1後		2							1
	アートプロデュースⅠ		3前		2		1		1				
	アートプロデュースⅡ		3後		2		1		1				
	小計(8科目)		－	2	14	0	1		1			5	
	発展科目	アートコース	アート実習Ⅰ	3前		2		3	2				
			アート実習Ⅱ	3後		2		3	2				
			アート実習Ⅲ	3前		2		3	2				
		メディアデザインコース	メディアデザイン実習Ⅰ	3前		2		4	2	1			
			メディアデザイン実習Ⅱ	3後		2		4	2	1			
			メディアデザイン実習Ⅲ	3後		2		4	2	1			
		先端メディアコース	先端メディア実習Ⅰ	3前		2		1	1	1			
			先端メディア実習Ⅱ	3後		2		1	1	1			
			先端メディア実習Ⅲ	3前		2		1	1	1			
			小計(9科目)	－	0	18	0	8	5	2			
	博物館学芸員科目	芸術文化論	2後		2							1	
		文化財学概論	3前		2							1	
		博物館概論	2前		2		1						
		博物館学特論	2後		2							1	
		博物館資料論	2後		2		1						
		博物館経営論	3後		2							1	
		博物館資料保存論	4前		2		1						
		博物館展示論	3通		2		1						
		博物館実習	4通		3		1						
		博物館教育論	2前		2							1	
		博物館情報・メディア論	2前		2				1				
		小計(11科目)	－	0	23	0	1		1			4	
			芸術特論	4通		2		1					
			卒業研究	4通	10			9	5	3			
			小計(2科目)	－	10	2	0	9	5	3			
合計(119科目)			－	40	197	0	9	5	3			51	
卒業要件及び履修方法													
Basic Program 30単位以上 Advanced Program 80単位以上 合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：48単位 (年間))													

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担							
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手						
A d v a n c e d P r o g r a m	理 論 系 科 目	メディア文化史	1後		2				1	1						1		
		美学・芸術学概論	1前		2													
		動画論	1前		2			2										
		メディア・アート論	1後		2				1									
		構成論	1前		2												1	
		先端メディア論	1前		2			1	2	1							1	
		小計(12科目)	－	0	24	0	5	3	2								4	
	導 入 科 目	ア ー ト 系	絵画基礎Ⅰ	1前		2							1					
			絵画基礎Ⅱ	1後		2			1									
			絵画基礎Ⅲ	2前		2			1									
			工芸基礎	1前		2			1	1								
			彫刻基礎	1後		2			1									
			造形基礎	1前		2												1
		メ デ ィ ア デ ザ ィ ン 系	デザイン基礎Ⅰ	1前		2			1									
			デザイン基礎Ⅱ	1後		2			1									
			デザイン基礎Ⅲ	2後		2						1						
			イラスト基礎Ⅰ	1前		2					1							
			イラスト基礎Ⅱ	1後		2					1							
			動画基礎	1前		2			1									1
			アニメーション基礎	1後		2			1									
			マンガ基礎	1前		2						1						
		先 端 メ デ ィ ア 系	先端メディア基礎Ⅰ	1前		2				1	1							
			先端メディア基礎Ⅱ	1後		2												1
			先端メディア基礎Ⅲ	2前		2												1
			ゲーム基礎	1後		2					1							
			プログラミング基礎	1前		2			1			1						
			3DCG基礎Ⅰ	1前		2					1							
			3DCG基礎Ⅱ	1後		2					1							
			小計(21科目)	－	0	42	0	8	5	2	1							3
		拡 張 科 目	コンピュータ演習	1前	2													2
			写真基礎	1前		2												1
			サウンドデザイン	1後		2												1
			モーショングラフィック	1後		2												1
			色彩学	1後		2												1
			知的財産権(未開講)	1後		2												1
	アートプロデュースⅠ		3前		2			1			1							
	アートプロデュースⅡ		3後		2			1			1							
	小計(8科目)		－	2	14	0	1		1								6	
	発 展 科 目	ア ー ト コ ー ス	アート実習Ⅰ	3前		2			3	2								
			アート実習Ⅱ	3後		2			3	2								
			アート実習Ⅲ	3前		2			3	2								
		メ デ ィ ア コ ー ス	メディアデザイン実習Ⅰ	3前		2			4	2	1							
			メディアデザイン実習Ⅱ	3後		2			4	2	1							
			メディアデザイン実習Ⅲ	3後		2			4	2	1							
		先 端 メ デ ィ ア コ ー ス	先端メディア実習Ⅰ	3前		2			1	2								
			先端メディア実習Ⅱ	3後		2			1	2								
			先端メディア実習Ⅲ	3前		2			1	2								
			小計(9科目)	－	0	18	0	8	6	1								
	博 物 館 学 芸 員 科 目	芸術文化論	2後		2												1	
		文化財学概論	3前		2												1	
		博物館概論	2前		2			1										
		博物館学特論	2後		2												1	
		博物館資料論	2後		2			1										
		博物館経営論	3後		2												1	
		博物館資料保存論	4前		2			1										
		博物館展示論	3通		2			1										
		博物館実習	4通		3			1										
		博物館教育論	2前		2												1	
		博物館情報・メディア論	2前		2						1							
		小計(11科目)	－	0	23	0	1		1								4	
			芸術特論	4通		2			1									
			卒業研究	4通	10				9	7	3	1						
	小計(2科目)		－	10	2	0	9	7	3	1								
合計(119科目)			－	40	197	0	9	7	3	1						58		
卒業要件及び履修方法																		
Basic Program 30単位以上 Advanced Program 80単位以上 合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：48単位 (年間))																		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために**未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入**してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順) 【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】									
【専任教員等の配置の変更】									
「A&S Core 1」	教授1	准教授1⇒教授5	准教授2	講師1	助教1				
「A&S Core 2」	教授1	准教授1⇒教授3	准教授3	講師1					
「A&S Core 7」	講師1⇒教授1	准教授1	講師1						
「A&S Core 8」	講師1⇒准教授1								
「プロジェクト演習Ⅰ」	教授8	准教授5	講師3⇒教授8	准教授7	講師3	助教1			
「プロジェクト演習Ⅱ」	教授8	准教授5	講師3⇒教授8	准教授7	講師3	助教1			
「プロジェクト演習Ⅲ」	教授8	准教授5	講師3⇒教授8	准教授6	講師2				
「プロジェクト演習Ⅳ」	教授8	准教授5	講師3⇒教授8	准教授6	講師2				
「総合プロジェクト実習Ⅰ」	教授8	准教授5	講師3⇒教授8	准教授7	講師3	助教1			
「総合プロジェクト実習Ⅱ」	教授8	准教授5	講師3⇒教授8	准教授7	講師3	助教1			
「デザイン史」	講師1⇒准教授1								
「メディア文化史」	講師1⇒准教授1	講師1							
「先端メディア論」	教授1⇒教授1	准教授2	講師1						
「絵画基礎Ⅰ」	専任0⇒助教1								
「先端メディア基礎Ⅰ」	講師1⇒准教授1	講師1							
「プログラミング基礎」	教授1⇒教授1	講師1							
「先端メディア実習Ⅰ」	教授1	准教授1	講師1⇒教授1	准教授2					
「先端メディア実習Ⅱ」	教授1	准教授1	講師1⇒教授1	准教授2					
「先端メディア実習Ⅲ」	教授1	准教授1	講師1⇒教授1	准教授2					
「卒業研究」	教授9	准教授5	講師3⇒教授9	准教授7	講師3	助教1			

- (注) ・ 2(1) ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の**未開講**や**廃止**については**記入しない**でください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
40 科目	197 科目	0 科目	237 科目	40 科目 [0]	197 科目 [0]	0 科目 [0]	237 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{237} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容						備考	
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計			
	校 舎 敷 地	128,167.00㎡	0.00㎡	0.00㎡		128,167.00㎡			
	運動場用地	80,043.00㎡	0.00㎡	0.00㎡		80,043.00㎡			
	小 計	208,210.00㎡	0.00㎡	0.00㎡		208,210.00㎡			
	そ の 他	52,334.00㎡	0.00㎡	0.00㎡		52,334.00㎡			
	合 計	260,544.00㎡	0.00㎡	0.00㎡		260,544.00㎡			
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計			
		42,893.42㎡ (42,893.42㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)		42,893.42㎡ (42,893.42㎡)			
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室		情報処理学習施設	語学学習施設		
		26室	19室	82室		2室 (補助職員 人)	1室 (補助職員 人)		
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		芸術学部芸術学科			17 室				
(5)図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
		電子ジャーナル 〔うち外国書〕							
	芸術学部	20,200 [3,125] (20,200 [3,125])	[21] ([4])	[0] ([0])	861 861	18 18	 (-)		
		計	20,200 [3,125] (20,200 [3,125])	[21] ([4])	[0] ([0])	861 861	18 18	 (-)	
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
		1,445.97㎡		255		113,500			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		1,999.87㎡		テ ニ ス コ ー ト 6 面		フ ッ ト サ ル コ ー ト 2 面			
				アイ ス ス ケ ー ト リ ン ク 1 面					
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	200千円	200千円	図書購入費	6,039千円	6,039千円	6,039千円	
		共 同 研 究 費 等	15,800千円	15,800千円	設備購入費	148,505千円	53,460千円	53,460千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,820千円	1,600千円	1,600千円	1,600千円	- 千円	- 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、寄付金 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	倉敷芸術科学大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	2
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備 考			
芸術学部	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	岡山県倉敷市連島町 西之浦2640番地	R3年度入学定員変更 (105人→100人) R5年度入学定員変更 (100人→150人) R6年度設置			
	4	150	3 年次 2	150	—	1.30	1.30	—	令和6					
	4	150	3 年次 2	150	学士 (芸術)	1.30	1.30	—	令和6		R5年度入学定員変更 (50人→90人) 令和6年度より学生募集停止			
	4	—	—	—	学士 (芸術)			—	平成16		R3年度入学定員変更 (55人→50人) R5年度入学定員変更 (50人→60人) 令和6年度より学生募集停止			
	4	—	—	—	学士 (芸術)			—	平成20					
生命科学部	4	200	3 年次 2	784	—	0.98	—	—	平成16	岡山県倉敷市連島町 西之浦2640番地	R3年度入学定員変更 (240人→190人) R5年度入学定員変更 (190人→200人)			
生命科学科	4	40	0	160	学士 (生命科学)	0.68	—	—	平成16		R3年度入学定員変更 (50人→40人)			
健康科学科	4	55	0	220	学士 (健康科学)	1.03	1.02	—	平成16		R3年度入学定員の変更 (80人→55人)			
動物生命科学科	4	50	3 年次 2	184	学士 (動物生命科学)	1.23	1.21	—	平成18		R3年度入学定員変更 (55人→40人) R5年度入学定員変更 (40人→50人)			
生命医科学科	4	55	0	220	学士 (生命医科学)	0.92	—	—	平成20					
危機管理学部		—	—	—										
危機管理学科	4	—	—	—	学士 (危機管理)	—	—	—	平成29		R3年度入学定員変更 (90人→60人) R5年度より募集停止			
大学全体	4	350	3 年次 4	934	—	—	—	—		—				

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「—」とした上で、「非表示」設定としてください。
・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<芸術学部 芸術学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柳田 宏治 (63) ＜令和6年4月＞ 工学士
		芸術的思考 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ デザイン基礎Ⅱ メディアデザイン実習Ⅰ メディアデザイン実習Ⅱ メディアデザイン実習Ⅲ 卒業研究
専	教授	松岡（時任） 智子 (63) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		日本近代美術史 アートプロデュースⅠ アートプロデュースⅡ 博物館概論 博物館資料論 博物館資料保存論 博物館展示論 博物館実習 卒業研究

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柳田 宏治 (64) ＜令和6年4月＞ 工学士
		A&S Core 2 芸術的思考 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ デザイン基礎Ⅱ メディアデザイン実習Ⅰ メディアデザイン実習Ⅱ メディアデザイン実習Ⅲ 卒業研究
専	教授	松岡（時任） 智子 (64) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		A&S Core 1 日本近代美術史 アートプロデュースⅠ アートプロデュースⅡ 博物館概論 博物館資料論 博物館資料保存論 博物館展示論 博物館実習 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	クリス ウォルトン (61) ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）米国 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ デザイン基礎Ⅰ メディアデザイン実習Ⅰ メディアデザイン実習Ⅱ メディアデザイン実習Ⅲ 卒業研究
専	教授	五十嵐 英之 (59) ＜令和6年4月＞ 修士（芸術） A&S Core 1 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ 絵画基礎Ⅱ アート実習Ⅰ アート実習Ⅱ アート実習Ⅲ 卒業研究
専	教授	張 慶南 (59) ＜令和6年4月＞ 修士（芸術） A&S Core 2 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ 工芸史 工芸基礎 アート実習Ⅰ アート実習Ⅱ アート実習Ⅲ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	クリス ウォルトン (62) ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）米国 A&S Core 1 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ デザイン基礎Ⅰ メディアデザイン実習Ⅰ メディアデザイン実習Ⅱ メディアデザイン実習Ⅲ 卒業研究
専	教授	五十嵐 英之 (60) ＜令和6年4月＞ 修士（芸術） A&S Core 1 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ 絵画基礎Ⅱ アート実習Ⅰ アート実習Ⅱ アート実習Ⅲ 卒業研究
専	教授	張 慶南 (60) ＜令和6年4月＞ 修士（芸術） A&S Core 2 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ 工芸史 工芸基礎 アート実習Ⅰ アート実習Ⅱ アート実習Ⅲ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中川 浩一 (58) <令和6年4月> 経済学士
		プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ 動画論 アニメーション基礎 メディアデザイン実習Ⅰ メディアデザイン実習Ⅱ メディアデザイン実習Ⅲ 卒業研究
専	教授	馬場 始三 (57) <令和6年4月> 博士(工学)
		プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ 先端メディア論 プログラミング基礎 先端メディア実習Ⅰ 先端メディア実習Ⅱ 先端メディア実習Ⅲ 卒業研究
専	教授	田丸 稔 (54) <令和6年4月> 修士(教育学)
		プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ 絵画基礎Ⅲ 彫刻基礎 アート実習Ⅰ アート実習Ⅱ アート実習Ⅲ 芸術特論 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中川 浩一 (59) <令和6年4月> 経済学士
		A&S Core 1 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ 動画論 アニメーション基礎 メディアデザイン実習Ⅰ メディアデザイン実習Ⅱ メディアデザイン実習Ⅲ 卒業研究
専	教授	馬場 始三 (58) <令和6年4月> 博士(工学)
		A&S Core 7 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ 先端メディア論 プログラミング基礎 先端メディア実習Ⅰ 先端メディア実習Ⅱ 先端メディア実習Ⅲ 卒業研究
専	教授	田丸 稔 (55) <令和6年4月> 修士(教育学)
		A&S Core 1 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ 絵画基礎Ⅲ 彫刻基礎 アート実習Ⅰ アート実習Ⅱ アート実習Ⅲ 芸術特論 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	丸田 昌宏 (53) ＜令和6年4月＞ 学士（法学）
		プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ 動画論 動画基礎 メディアデザイン実習Ⅰ メディアデザイン実習Ⅱ メディアデザイン実習Ⅲ 卒業研究
専	准教授	井上 昌崇 (46) ＜令和6年4月＞ 修士（芸術）
		A&S Core 2 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ 工芸史 工芸基礎 アート実習Ⅰ アート実習Ⅱ アート実習Ⅲ 卒業研究
専	准教授	大屋 努 (45) ＜令和6年4月＞ 修士（芸術工学）
		プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ メディア・アート論 ゲーム基礎 3DCG基礎Ⅰ 3DCG基礎Ⅱ 先端メディア実習Ⅰ 先端メディア実習Ⅱ 先端メディア実習Ⅲ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	丸田 昌宏 (54) ＜令和6年4月＞ 学士（法学）
		A&S Core 2 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ 動画論 動画基礎 メディアデザイン実習Ⅰ メディアデザイン実習Ⅱ メディアデザイン実習Ⅲ 卒業研究
専	准教授	井上 昌崇 (47) ＜令和6年4月＞ 修士（芸術）
		A&S Core 2 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ 工芸史 工芸基礎 アート実習Ⅰ アート実習Ⅱ アート実習Ⅲ 卒業研究
専	准教授	大屋 努 (46) ＜令和6年4月＞ 修士（芸術工学）
		A&S Core 2 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ メディア・アート論 先端メディア論 ゲーム基礎 3DCG基礎Ⅰ 3DCG基礎Ⅱ 先端メディア実習Ⅰ 先端メディア実習Ⅱ 先端メディア実習Ⅲ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	川上 幸之介 (44) ＜令和6年4月＞ 修士（芸術）英国
		A&S Core 1 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ アート実習Ⅰ アート実習Ⅱ アート実習Ⅲ 卒業研究
専	特担任教授	吉田 磨希 (54) ＜令和6年4月＞ 準学士
		プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ イラスト基礎Ⅰ メディアデザイン実習Ⅰ メディアデザイン実習Ⅱ メディアデザイン実習Ⅲ 卒業研究
専	特担任教授	土井原（川口） 由子 (47) ＜令和6年4月＞ 準学士
		プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ イラスト基礎Ⅱ メディアデザイン実習Ⅰ メディアデザイン実習Ⅱ メディアデザイン実習Ⅲ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	川上 幸之介 (45) ＜令和6年4月＞ 修士（芸術）英国
		A&S Core 1 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ アート実習Ⅰ アート実習Ⅱ アート実習Ⅲ 卒業研究
専	特担任教授	吉田 磨希 (55) ＜令和6年4月＞ 準学士
		A&S Core 1 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ イラスト基礎Ⅰ メディアデザイン実習Ⅰ メディアデザイン実習Ⅱ メディアデザイン実習Ⅲ 卒業研究
専	特担任教授	土井原（川口） 由子 (48) ＜令和6年4月＞ 準学士
		A&S Core 2 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ イラスト基礎Ⅱ メディアデザイン実習Ⅰ メディアデザイン実習Ⅱ メディアデザイン実習Ⅲ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	西田 幸司 (46) ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）
		A&S Core 8 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ デザイン史 メディア文化史 先端メディア基礎Ⅰ 先端メディア実習Ⅰ 先端メディア実習Ⅱ 先端メディア実習Ⅲ 卒業研究
専	講師	西村 優美 (38) ＜令和6年4月＞ 専門士
		プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ デザイン基礎Ⅲ マンガ基礎 メディアデザイン実習Ⅰ メディアデザイン実習Ⅱ メディアデザイン実習Ⅲ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	西田 幸司 (47) ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）
		A&S Core 8 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ デザイン史 メディア文化史 先端メディア論 先端メディア基礎Ⅰ 先端メディア実習Ⅰ 先端メディア実習Ⅱ 先端メディア実習Ⅲ 卒業研究
専	准教授	澁澤 星 (40) ＜令和6年4月＞ 博士（美術）
		A&S Core 7 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ 卒業研究
専	講師	西村 優美 (39) ＜令和6年4月＞ 専門士
		A&S Core 2 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ デザイン基礎Ⅲ マンガ基礎 メディアデザイン実習Ⅰ メディアデザイン実習Ⅱ メディアデザイン実習Ⅲ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	請田 義人 (33) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		A&S Core 7 A&S PBL I A&S PBL II プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ 西洋美術史 日本美術史 アートプロデュースⅠ アートプロデュースⅡ 博物館情報・メディア論 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	請田 義人 (34) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		A&S Core 7 A&S PBL I A&S PBL II プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ プロジェクト演習Ⅲ プロジェクト演習Ⅳ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ 西洋美術史 日本美術史 アートプロデュースⅠ アートプロデュースⅡ 博物館情報・メディア論 卒業研究
専	講師	大森 隆 (44) ＜令和6年4月＞ 修士（デザインストラテジー）
		A&S Core 1 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ メディア文化史 先端メディア論 先端メディア基礎Ⅰ プログラミング基礎 卒業研究
専	助教	原田 よもぎ (28) ＜令和6年4月＞ 博士（芸術）
		A&S Core 1 プロジェクト演習Ⅰ プロジェクト演習Ⅱ 総合プロジェクト実習Ⅰ 総合プロジェクト実習Ⅱ 絵画基礎Ⅰ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	趙 慧欣 (64) ＜令和6年4月＞ 文学博士（中国語語言）中国
		中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	土屋 博之 (63) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		キャリアデザインⅠ
兼任	教授	唐川 千秋 (62) ＜令和6年4月＞ 文学修士
		A&S Core 9
兼任	教授	岡 憲明 (60) ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		A&S Core 4
兼任	教授	岡田 誠剛 (59) ＜令和6年4月＞ 理学博士
		A&S Core 11
兼任	教授	渡谷 真吾 (60) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		情報リテラシー データリテラシー
兼任	教授	プラダン スジット (58) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		情報リテラシー メディアリテラシー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	趙 慧欣 (65) ＜令和6年4月＞ 文学博士（中国語語言）中国
		中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	土屋 博之 (64) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		キャリアデザインⅠ
兼任	教授	唐川 千秋 (63) ＜令和6年4月＞ 文学修士
		A&S Core 9
兼任	教授	岡 憲明 (61) ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		A&S Core 4
兼任	教授	岡田 誠剛 (60) ＜令和6年4月＞ 理学博士
		A&S Core 11
兼任	教授	渡谷 真吾 (61) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		情報リテラシー データリテラシー
兼任	教授	プラダン スジット (59) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		情報リテラシー メディアリテラシー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	内藤 整 (57) ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		A&S Core 4 科学的思考 A&S PBL I A&S PBL II
兼任	教授	加藤 敬史 (56) ＜令和6年4月＞ 修士（理学）
		A&S Core 3 科学的思考
兼任	教授	村山 公保 (55) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		情報リテラシー プログラミング
兼任	教授	仲 章伸 (54) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		A&S Core 4
兼任	教授	矢田貝（須見） 智恵子 (54) ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		A&S Core 3
兼任	教授	江原 雅江 (53) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	柳下 直己 (51) ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		A&S Core 3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	内藤 整 (58) ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		A&S Core 4 科学的思考 A&S PBL I A&S PBL II
兼任	教授	加藤 敬史 (57) ＜令和6年4月＞ 修士（理学）
		A&S Core 3 科学的思考
兼任	教授	村山 公保 (56) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		情報リテラシー プログラミング
兼任	教授	仲 章伸 (55) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		A&S Core 4
兼任	教授	矢田貝（須見） 智恵子 (55) ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		A&S Core 3
兼任	教授	江原 雅江 (54) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	柳下 直己 (52) ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		A&S Core 3

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	橋元 純也 (50) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		A&S Core 6 文化と言語表現 社会と言語表現 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ リーダーシップ実践 地域デザイン A&S Fieldwork 2 A&S Fieldwork 3 認定フィールドワーク実践Ⅰ 認定フィールドワーク実践Ⅱ 認定フィールドワーク実践Ⅲ
兼任	准教授	藤本 一満 (63) ＜令和6年4月＞ 学士（保健衛生）
		A&S Core 11

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	橋元 純也 (51) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		A&S Core 1 A&S Core 2 A&S Core 3 A&S Core 4 A&S Core 5 A&S Core 6 A&S Core 7 A&S Core 8 A&S Core 9 A&S Core 10 A&S Core 11 A&S Core 12 文化と言語表現 社会と言語表現 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ リーダーシップ実践 地域デザイン A&S Fieldwork 2 A&S Fieldwork 3 認定フィールドワーク実践Ⅰ 認定フィールドワーク実践Ⅱ 認定フィールドワーク実践Ⅲ
兼任	教授	山崎 勝利 (62) ＜令和6年4月＞ 博士（保健学）
		A&S Fieldwork 1
兼任	教授	飯島 有美子 (54) ＜令和6年4月＞ 修士（国際学）
		A&S Core 5 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ
兼任	准教授	藤本 一満 (64) ＜令和6年4月＞ 学士（保健衛生）
		A&S Core 11

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	水田 直美 (57) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		A&S Core 5
兼任	准教授	徳田 美智 (52) ＜令和6年4月＞ 修士（マネジメント）
		A&S Core 10
兼任	准教授	枝松 千尋 (50) ＜令和6年4月＞ 博士（健康科学）
		A&S Core 12 A&S Fieldwork 4 A&S Fieldwork 6
兼任	准教授	大杉忠則 (46) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		A&S Core 3 A&S Fieldwork 1
兼任	准教授	椎葉 大輔 (43) ＜令和6年4月＞ 博士（健康科学）
		A&S Core 12 A&S Fieldwork 5
兼任	准教授	山野（柳下） ひとみ (40) ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		A&S Core 4
兼任	講師	松村 敬則 (57) ＜令和6年4月＞ 学士（経済）
		キャリアデザイン I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	水田 直美 (58) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		A&S Core 5
兼任	准教授	徳田 美智 (53) ＜令和6年4月＞ 修士（マネジメント）
		A&S Core 10
兼任	准教授	大杉忠則 (47) ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		A&S Core 3 A&S Fieldwork 1
兼任	准教授	椎葉 大輔 (44) ＜令和6年4月＞ 博士（健康科学）
		A&S Core 12 A&S Fieldwork 5
兼任	准教授	山野（柳下） ひとみ (41) ＜令和6年4月＞ 博士（農学）
		A&S Core 4
兼任	講師	松村 敬則 (58) ＜令和6年4月＞ 学士（経済）
		キャリアデザイン I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	箕口 けい子 (50) ＜令和6年4月＞ 学士（産業科学技術）
		A&S Core 10
兼任	助教	菅 正樹 (31) ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
		A&S Core 11 保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ A&S Fieldwork 5
兼任	助教	江塚 楓奈 (25) ＜令和6年4月＞ 修士（学術）
		A&S Core 8
兼任	助教	内田 圭佑 (27) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		A&S Core 9
兼任	講師	森山 知己 (65) ＜令和6年4月＞ 修士（芸術）
		A&S Core 7 絵画基礎Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	箕口 けい子 (51) ＜令和6年4月＞ 学士（産業科学技術）
		A&S Core 10 A&S Fieldwork 1
兼任	講師	三重 慧一郎 (37) ＜令和6年4月＞ 博士（獣医学）
		A&S Fieldwork 1
兼任	助教	菅 正樹 (32) ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
		A&S Core 11 保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ A&S Fieldwork 1 A&S Fieldwork 4 A&S Fieldwork 6
兼任	助教	江塚 楓奈 (26) ＜令和6年4月＞ 修士（学術）
		A&S Core 8
兼任	助教	内田 圭佑 (28) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		A&S Core 9 博物館教育論
兼任	講師	森山 知己 (66) ＜令和6年4月＞ 修士（芸術）
		A&S Core 7

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大家 一 (63) ＜令和6年4月＞ 学士（体育学）
		保健体育概論
兼任	講師	尾崎 江美 (55) ＜令和6年4月＞ 準学士
		マナーマイスター
兼任	講師	河 智弘 (52) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	神田 耕太郎 (59) ＜令和6年4月＞ 教育学士
		日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大家 一 (64) ＜令和6年4月＞ 学士（体育学）
		保健体育概論
兼任	講師	井門 裕子 (43) ＜令和6年4月＞ 専門士
		マナーマイスター
兼任	講師	長谷川 真紀 (52) ＜令和6年4月＞ 英語学修士
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	Huynh Khanh (44) ＜令和6年4月＞ Liberal Studies
		英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	河 智弘 (53) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ
兼任	講師	神田 耕太郎 (60) ＜令和6年4月＞ 教育学士
		日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小西 裕美 (50) ＜令和6年4月＞ 学士（言語・地域文化）
		日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ
兼任	講師	佐藤 友子 (60) ＜令和6年4月＞ 修士（学術）
		日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ
兼任	講師	矢吹 香月 (62) ＜令和6年4月＞ 博士（法学）
		日本国憲法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 友子 (61) ＜令和6年4月＞ 修士（学術）
		日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ
兼任	講師	矢吹 香月 (63) ＜令和6年4月＞ 博士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	白神 典大 (44) ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）
		A&S Core 2
兼任	講師	内藤 佐和 (50) ＜令和6年4月＞ 医学博士
		A&S Core 12
兼任	講師	白神 瑠菜 (25) ＜令和6年4月＞ 学士（健康科学）
		A&S Fieldwork 5
兼任	講師	白神 怜菜 (25) ＜令和6年4月＞ 学士（健康科学）
		A&S Fieldwork 5

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西村 次郎 (68) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		A&S Fieldwork 4
兼任	講師	湯川 治敏 (60) ＜令和6年4月＞ 修士（体育科学）
		A&S Fieldwork 4
兼任	講師	瀧 朝子 (47) ＜令和6年4月＞ 文学博士
		東洋美術史
兼任	講師	秋吉 康晴 (41) ＜令和6年4月＞ 文学博士
		美学・芸術学概論
兼任	講師	藤原 智也 (38) ＜令和6年4月＞ 博士（学校教育学）
		構成論
兼任	講師	片山 康之 (44) ＜令和6年4月＞ 芸術学修士
		造形基礎

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西村 次郎 (69) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		A&S Fieldwork 4
兼任	講師	瀧 朝子 (48) ＜令和6年4月＞ 文学博士
		東洋美術史
兼任	講師	秋吉 康晴 (42) ＜令和6年4月＞ 文学博士
		美学・芸術学概論
兼任	講師	稲葉 剛 (42) ＜令和6年4月＞ デザイン学修士
		構成論
兼任	講師	蛭田 直 (47) ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）
		先端メディア論
兼任	講師	片山 康之 (45) ＜令和6年4月＞ 芸術学修士
		造形基礎

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡崎 遼太郎 (34) ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）
		先端メディア基礎Ⅱ 先端メディア基礎Ⅲ
兼任	講師	豊田 洋通 (43) ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）
		コンピュータ演習 モーショングラフィック
兼任	講師	為藤 良介 (41) ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）
		写真基礎
兼任	講師	小村 雅弘 (67) ＜令和6年4月＞ 高等学校卒
		サウンドデザイン
兼任	講師	高橋 俊臣 (46) ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）
		色彩学
兼任	講師	下尾 邦之 (64) ＜令和6年4月＞ 芸術学士
		知的財産権

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡崎 遼太郎 (35) ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）
		先端メディア基礎Ⅱ 先端メディア基礎Ⅲ
兼任	講師	豊田 洋通 (44) ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）
		動画基礎 コンピュータ演習 モーショングラフィック
兼任	講師	松本 恭吾 (49) ＜令和6年4月＞ 修士（芸術）
		コンピュータ演習
兼任	講師	為藤 良介 (42) ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）
		写真基礎
兼任	講師	小村 雅弘 (68) ＜令和6年4月＞ 高等学校卒
		サウンドデザイン
兼任	講師	高橋 俊臣 (47) ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）
		色彩学
兼任	講師	下尾 邦之 (65) ＜令和6年4月＞ 芸術学士
		知的財産権

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	守田 均 (70) ＜令和6年4月＞ 学士（歴史学）
		芸術文化論 文化財学概論
兼任	講師	三宅 利枝 (50) ＜令和6年4月＞ 学士（文学）
		博物館学特論
兼任	講師	坂口 誠 (66) ＜令和6年4月＞ 学士（水産学）
		博物館経営論
兼任	講師	赤木 恒雄 (70) ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		博物館教育論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	徳山 亜希子 (47) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		芸術文化論 文化財学概論
兼任	講師	三宅 利枝 (51) ＜令和6年4月＞ 学士（文学）
		博物館学特論
兼任	講師	坂口 誠 (67) ＜令和6年4月＞ 学士（水産学）
		博物館経営論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

＜専任教員＞ 湊澤星准教授、大森隆講師、原田よもぎ助教を新規採用。 ＜兼任・兼任＞ 兼任：山崎勝利教授、飯島有美子教授、三重慧一郎講師を配置。 枝松千尋准教授が退職。 兼任：尾崎江美講師を井門裕子講師に、藤原智也講師を稲葉剛講師に、守田均講師を徳山亜希子講師に変更。 長谷川真紀講師、Huynh Khan講師、白神典大講師、内藤佐和講師、白神瑠奈講師、白神怜奈講師、蛭田直講師、松本恭吾講師を配置。 小西裕美講師、湯川治敏講師、赤木恒雄講師が辞退。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) -② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
13	7
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （A）	助手 （A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （B）	助手 （B'）
9	5	3	0	17	0	9	7	3	1	20	0
(9)	(7)	(3)	(1)	(18)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （C）	助手 （C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （D）	助手 （D'）
9	7	3	1	20	0	9	7	3	1	20	0
[0]	[2]	[0]	[1]	[3]	[0]	[0]	[2]	[0]	[1]	[3]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C)

=

20

17

=

117.64

%

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数

=

0

20

=

0

%

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C')

=

0

0

=

-

%

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
							該当なし				
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0人			必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
							該当なし				
合 計 （ F ）						後任補充状況の集計 （ G ）					
辞任した教員数			担当科目数の合計 （ a ） + （ b ） + （ c ）			①の合計数 （ a ）		②の合計数 （ b ）		③の合計数 （ c ）	
0人			必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合 計（D）＋（F）						後任補充状況の集計（E）＋（G）					
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0人			必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)－③合計(D)+(F)

(2)－②設置時の計画(A)

=

0

17

=

0

%

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

-

人

- (注) ・ (3)－①、(3)－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D)＋(F)と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
						該当なし				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
-	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届出時 (令和5年)	・生命科学部動物生命科学科の収容定員超過の是正に努めること。 ・生命科学部生命科学科の収容定員未充足の是正に努めること。	【届出】 遵守事項 ・生命科学部動物生命科学科においては、令和5（2023）年度より入学定員を10名増としたことにより、令和6（2024）年度の収容定員充足率は1.23倍と引き続き高いものの、令和5（2023）年度の入学定員充足率は1.12倍、令和6（2024）年度の入学定員充足率は1.10倍と下降傾向にあり、今後の収容定員充足率の是正を見込んでいる。 ・生命科学部生命科学科においては、令和6（2024）年度の入学定員超過率が0.50倍と、引き続き厳しい状況が続いている。そのため、専門分野の教員を1名学内異動して教育内容の充実を図るとともに、募集活動を活発化して学生確保に努めている。	履行中 引き続き適正な入学定員管理を実施し、収容定員超過の是正に努める。 併せて収容定員未充足については、募集活動に注力し、学生確保にさらに努める。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）（6）」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<芸術学部 芸術学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学務委員会がFD活動支援を所管している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

毎月1回開催している。

構成員：

- (1) 副学長(教育担当)
- (2) 学部長
- (3) 研究科長
- (4) 各学科から1名
- (5) 教職・学芸員課程長
- (6) 教育開発センター長
- (7) グローバルセンター長
- (8) 学務部長

c 委員会の審議事項等

- (1) 授業科目の編成に関する事。
- (2) 授業科目の履修に関する事。
- (3) 試験に関する事。
- (4) 単位の認定に関する事。
- (5) 卒業及び進級に関する事。
- (6) 行事予定及び学年歴に関する事。
- (7) 科目等履修生、特別聴講学生、研究生及び委託生に関する事。
- (8) 編入学、再入学及び転入学に関する事。
- (9) 授業評価(含む学生アンケート)に関する事。
- (10) FD活動の支援に関する事。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 新LMSに関する研修会
- ・ A&S教育に関する研修会
- ・ 教職課程FD研修
- ・ シラバスに関するFD研修
- ・ Schoolyticsの簡易講習
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ 新採用教職員対象研修会

b 実施方法

基本的に講義室等で実施している。欠席の場合は、資料のダウンロードやVODにて対応している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

年間6～7回程度実施している。当日の教員の参加は、約50～60%である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

事後アンケートを実施し、結果を回覧している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

学期ごと1回ずつ、大学ポータル（キャンパスプラン）のアンケート機能を使用して実施している。

- ・前期（第13～15週／7～8月あたり）
- ・後期（第13～15週／12～1月あたり）

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は大学ポータル（キャンパスプラン）を確認、「授業評価アンケート結果に応じて」を大学ポータル（キャンパスプラン）に入力する。

集計結果等は、大学ポータル（キャンパスプラン）に「授業評価アンケート集計結果」および「授業評価アンケート結果に応じて」掲載しており、学生が閲覧可能となっている。

さらに、大学ウェブサイト「情報公開＞5. 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業に関すること」においても公開している。

2022年度以前の「授業評価アンケート結果に応じて」（紙媒体）は図書館および教務課に備え付けており、学生が閲覧可能である。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

倉敷芸術科学大学では、学長会議、自己点検・評価委員会、大学評価委員会を中心とした内部質保証体制を構築し、自己点検・評価に関するPDCAサイクルを確立している。毎年度自己点検・評価報告書を作成し、大学ウェブサイト等で公開している。

芸術学部芸術学科は、全学的な教育改革に伴い、「学部教育へのデジタル技術導入および成果物のデジタルコンテンツ化」と「芸術と科学を実践的かつ横断的に学ぶ教育プログラム開発」を目的として、Basic Program用の教材開発や、複数分野を横断する教育を促進するため、以下の事項に注力する。

①Basic Programにおける、芸術と科学の横断的、かつ体験的な教材開発と教育の実践

②学部専攻科目であるAdvanced Programにおけるデジタル技術の横断的導入

①については、Basic Program Core科目のうち、「A&S Core1」「A&S Core2」において、造形芸術教育における最も基礎的な体験プログラムを開発し、全学的に実施している。

②については、今年度より芸術学部の学生を対象にPCを必携化としたことから、IT環境の整備として、adobe社と「creative cloud」の契約を結び、在籍学生分のアカウントを用意し、さらに、学内の無線LAN設備の更新を実施している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 2023年度自己点検・評価報告書 令和6年5月 公表

b 公表方法

・ 大学ウェブサイト to 公開

③ 認証評価を受ける計画

・ 平成29年度に日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、同機構が定める大学基準に適合していると認定された。
令和6年に同機構の認証評価を受審するため、現在準備中である。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書 (令和6年度)

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表 (予定) 時期 [調査結果公表後 1 ヶ月以内 ・ 公表後 2 ~ 3 ヶ月以内 ・ 公表後 3 ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト to 公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。